

大糸線プロモーション事業の取組状況 (10月末現在)

2024年11月15日

大糸線利用促進輸送強化期成同盟会

大糸線の利用促進・利便性向上事業の概要

事業の目的

北陸新幹線の敦賀延伸を契機に、大糸線の本格的な利用促進策を沿線関係者が一丸となって実施し、大糸線の利用価値を高め、大糸線のバージョンアップを目指す。

期成同盟会や大糸線活性化協議会の従来の取組に加え、本格的な利用促進・利便性向上事業を展開

事業の展開イメージ

期成同盟会

- ・大糸線カレンダーの作成
- ・ＪＲ各社への要望行動
- ・関係団体との連携 など

大糸線活性化協議会

- ・温泉施設を巡るスタンプラリー
- ・サイクルトレイン
- ・「雪月花」の大糸線乗り入れ
- ・大糸線を活用したイベント助成 など

大糸線プロモーション事業 (利用促進事業)

- 大糸線特設サイトの開設
- 謎解きラリーイベントの開催
- 旅行商品の造成
- ＪＲ西日本媒体等を活用したプロモーションの実施
- 京阪神・北陸エリアでのＰＲイベント開催
- おトクなきっぷ（デジタルチケット）発売

北陸新幹線と大糸線の接続を確保(来訪者の利便性向上)

糸魚川駅に停車する全ての北陸新幹線への接続検討 (利便性向上事業)

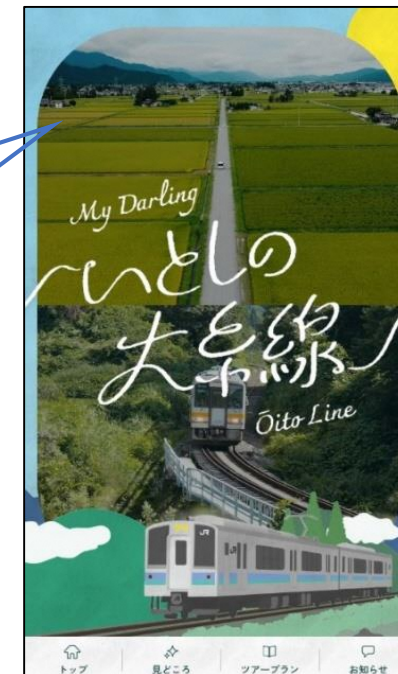
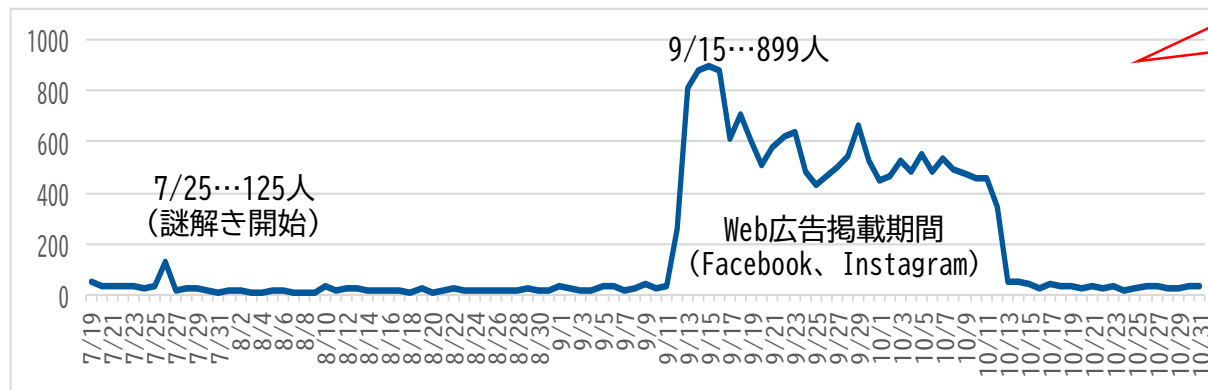
- 臨時バス運行実証、乗降調査

大糸線プロモーション事業の取組状況 ①大糸線特設サイトの開設

開設日：令和6年7月19日公開

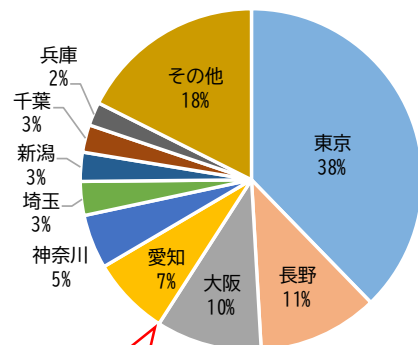
掲載内容：大糸線・沿線の魅力情報、謎解きイベントの周知・参加誘導、着地型商品の周知・Web予約

①訪問者数 19,416人



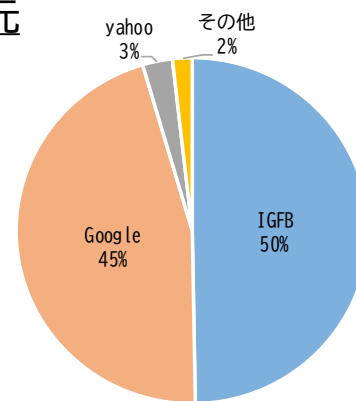
平均滞在時間から訪問者の満足度
は比較的高い

②ユーザー地域



海外からのアクセスは
ほとんどない

③参照元



Web広告によるSNSからの流入が多い
一方、「大糸線」を目的とした自然
検索も多い

③平均滞在時間 1分28秒

④直帰率 57.2%

(参考)

- ・ トップページを閲覧し、外部サイトへ移動した場合（直帰率）は、滞在時間はカウントされない（同様に最後に閲覧したページもカウントされない）
- ・ 平均滞在時間は、概ね1分30秒前後が平均値とされている。

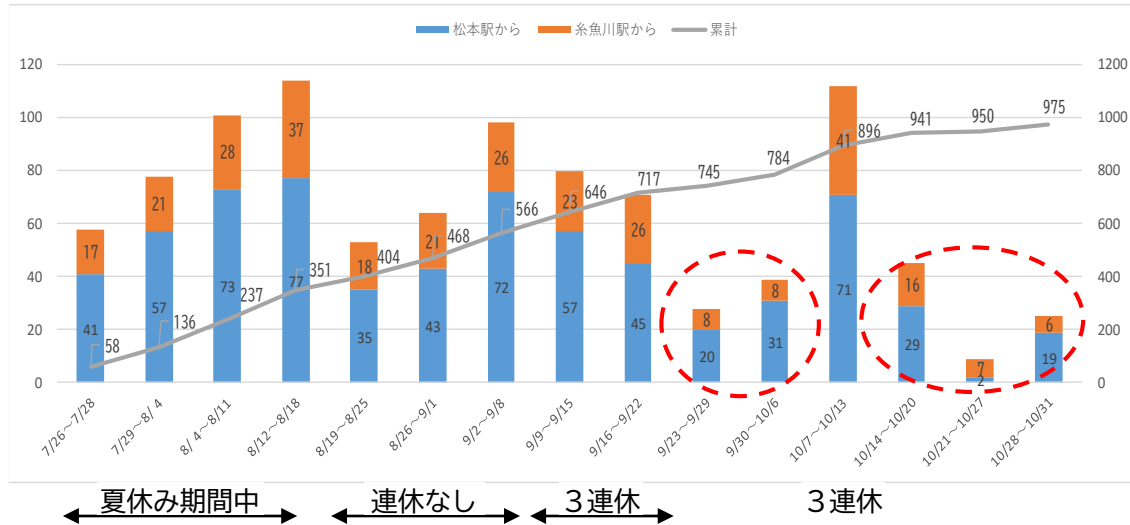
課題

- ✓ 大糸線沿線の見どころや観光情報、トピックスの充実
- ✓ 四季の画像や車窓からの景色の充実
- ✓ 日本語サイトのため、外国人観光客を取り込めていない
(サイトの多言語化などによる海外への情報発信)

大糸線プロモーション事業の取組状況 ②謎解きラリーイベント

名称：謎解きイベント「大糸線謎解き 9つの物語」 実施期間：令和6年7月26日(金)～令和6年10月31日(木)
内容：大糸線全線を舞台とした謎解きイベント、大糸線に乗る必然性と話題性を発信

①参加者数 975人（松本駅から672人、糸魚川駅から303人）



- 大糸線の乗車に直接つながるイベントとして、効果が高い
- 夏休み期間中や3連休の週の利用が多い
- 連休がない週の利用も多い（8/19～9/8）一方、イベントが集中するとされる9月中旬～10月上旬、10月中旬以降の利用は少ない

（参考）糸魚川駅～松本駅間の乗り継ぎ

【糸魚川駅→松本駅】

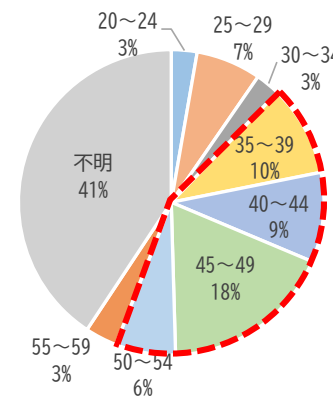
- 乗換1回：2本/日（内1本は特急あずさを利用）
- 乗換2回：4本/日（内1本は増便バスを利用）

【松本駅→糸魚川駅】

- 乗換1回：4本/日（内2本は特急あずさ・リゾートビューふるさと、内1本は増便バスを利用）
- 乗換2回：2本/日（内1本は増便バスを利用）

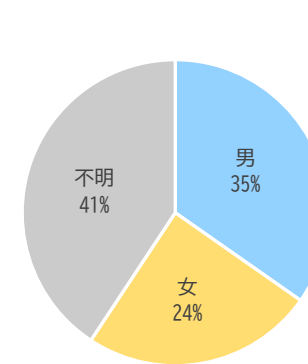
※SNSで「時刻表を見て参加をやめた」「往復に時間がかかるため参加を躊躇した」との意見あり

②年齢

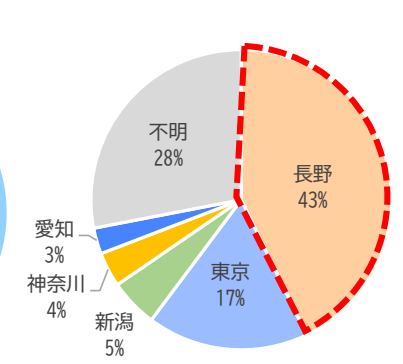


- 参加者の年齢層は、35歳～54歳の参加が多い（43%）
- 県内からの参加者が多い
- 今後、参加者にアンケート調査を実施

③性別



④地域



課題

- ✓ 謎解きキット配布数（約4,000人）に比べ、参加者数が少ない
- ✓ 謎解き区間が糸魚川駅～松本駅間のため、円滑に乗り継ぎができるダイヤが限定され、参加を見送った人が一定程度あった（気軽に参加できる設定の考慮）
- ✓ 参加目標を8,000人としていたが、目標設定が過大

（参考）他の謎解きイベントとの比較

- 福岡県某観光協会との街歩き謎解きイベント
実施期間：7/1～12/27 参加者数：402人
- 某大手通信事業者との街歩き謎解きイベント
実施期間：3/15～9/30 参加者数：320人



大糸線プロモーション事業の取組状況 ③着地型旅行商品の造成

販売開始：令和6年9月10日(水)～
企画内容：大糸線沿線の観光資源等を活用した旅行プランの企画・造成
大糸線と連携した二次交通の活用（大糸線からスムーズに観光が可能）
特設サイトから予約、決済が可能

商 品	安曇野アートラインを巡る旅	北アルプス体感タクシープラン
企 画	南安タクシー(有) 南安トラベル	(株) トラベルプラザ
運 行	南安タクシー(有)	アルピコタクシー (株)
コース	○安曇野・大町コース 穂高駅～タクシー（立寄り箇所）～信濃大町駅 ○大町・白馬コース 白馬駅～タクシー（立寄り箇所）～信濃大町駅 立寄り箇所…安曇野アートライン加盟美術館・博物館から選択	○とうちゃくタクシー …南小谷駅～宿泊施設（大町・白馬・小谷）を結ぶ ①塩の道巡りコース、②白馬ジャンプ競技場コース ③青木湖・信濃大町巡りコース ○おかえりタクシー …宿泊施設（大町・白馬）～南小谷駅を結ぶ ①白馬岩岳マウンテンリゾートコース ②杣池マウンテンリゾートコース
料 金	1グループ（1台）35,000円／48,000円（ジャンボタクシー）	一人6,000円～（コース、人数による）

利用実績 なし

- 沿線の観光協会等が企画する旅行商品も特設サイトでPRを実施
- 地元の旅行会社等と共同で企画したことで、大糸線の利用促進に向けた商品造成への意欲は高まっている

- 課題
- ✓ 地方への国内旅行では、自家用車での移動が大半を占めており、大糸線を利用していただく工夫が必要
 - ✓ 外国人観光客（インバウンド需要）を含むPRの強化

大糸線プロモーション事業の取組状況 ④ P R 施策

○交通広告

J R西・J R東エリア、えちごトキめき鉄道においてP Rを実施

- ・ 駅広告
- ・ 車内広告
- ・ デジタルサイネージ
- ・ J Rとのタイアップポスター等



糸魚川駅 デジタルサイネージ



松本駅 大型幕

○メディア広告

Web広告

- ・ meta (Facebook、Instagram) 9/11～10/10 (30日間)
- ・ Yahooディスプレイ ほか
- ・ PR TIMESでの情報発信 (プレスリリース配信サービス)

雑誌広告

- ・ 「旅の手帳 (交通新聞社)」 10月号掲載 (9/10発売)

ラジオ

- ・ FMまつもと 8/13生番組告知 (2回再放送)

ご当地いま推し!

地域注目の話題をお届け



1



2



3

1.信濃木崎～北大町間を走る大糸線 2.糸魚川に向かって左に見える青木湖 3.懐かしい佇まいの木造駅舎、頸城大野駅

長野県・新潟県

大糸線

編集部

協力/大糸線利用促進輸送強化期成同盟会

車窓は北アルプスと
日本の原風景が続く
“ふるさとリゾート列車”

東京から日本海を目指すといえ、いまや北陸新幹線なのだろうけれど、旅情をたっぷり味わいたいなら中央本線で松本へ行き、大糸線で糸魚川に向かう旅路を選びたい。その理由は沿線スポットの充実と、飽くことのない車窓風景だ。

松本を出た大糸線は田んぼに川、里山の風景が広がる安曇野を北へ。西側には北アルプスが連なり、穂高岳や槍ヶ岳といった3000m級の山がそびえる。信濃大町を過ぎると木崎湖、中綱湖、青木湖の仁科三湖が現れる。天気がよく、条件がそろえば青木湖の水面に映る白馬連峰が楽しめるだろう。

白馬を抜けて、北アルプスを水源とする清冽な姫川の流れに沿って走りだした大糸線はやがて終着駅の糸魚川へ、もうそこは日本海だ。

車内では山や温泉に向かう観光客と沿線の人たちのにぎわいを感じながら、野を越え山を越え、日に光る川面や里の風景を眺めてゆったり過ごす、大糸線はまさに“ふるさとリゾート列車”なのだ。

路線は長野県松本市から新潟県糸魚川市まで全長105・4kmの単線で、駅数は41。JR東日本とJR西日本の二つの管轄にまたがり、このうちJR西日本との区間(南小谷～糸魚川間)は非電化区間となっている。歴史も古く、開業は区間ごとに異なるが大正時代に始まる。昭和9年(1934)開業当時の面影を残す頸城大野駅をはじめ、レトロな駅舎が多いことも魅力の一つだ。

そんな大糸線をいつそう盛り上げようと、特設ウェブサイトを「いとしの大糸線」が開設された。大糸線を活用したツアープランや、知る人ぞ知る沿線&車窓情報などを発信。さらには大糸線を舞台にした謎解きゲーム「大糸線謎解き-9つの物語-」も10月末まで開催。

秋の大糸線のんびり旅、よいですぞ。

いとしの大糸線



サイトでは
大糸線の旅行商品も
予約できる



大糸線謎解き-9つの物語-



参加費は無料、
所要時間は3～4時間。
キット配布場所は
沿線の観光案内所ほか

